

特集

# 3 問題のある広告から 子どもを守るために

長谷川 陽子 Hasegawa Yoko

安心ネットづくり促進協議会 特別会員、情報教育アナリスト

島根県松江市出身。パソコンのインストラクターを経て、2006年から全国の児童・生徒・学生・教職員・保護者を対象に「情報モラル教育」を指導。実施した学校は750校以上



2021年度も3カ月目となり、子どもたちも新しい学校生活になじんだ頃でしょうか？ コロナ禍で緊急事態宣言が出た地域では、登校せずにオンライン授業を行う学校もあり、子どもが自宅で過ごす時間が増えた家庭が多いようです。

また、文部科学省のGIGAスクール構想として、児童・生徒に1人1台の端末が整備され、その利活用の一環としてタブレットを家庭に持ち帰って自学自習する時代になってきています。将来、タブレットだけをランドセルやかばんに入れて学校に通うのが当たり前になるかもしれません。

大人だけでなく、子どもたちも気づけばスマホやタブレットなどのネットにつながる端末を手にして「いつでもどこでも誰とでも」つながり、情報をすぐに入手できるようになっていますが、安全に使いこなせているかは疑問です。

例えば、皆さんはお使いのスマホの設定変更をしていますか？ GPS機能を用途に合わせてオン/オフにしていますか？ 常にオンになっていると自分の居場所を第三者に四六時中教えているのと同じリスクがあります。

また、アプリはどうでしょう？ 設定変更していますか？ 設定を確認しないで使うと自分では気づかないうちにサイト閲覧履歴等の情報を利用されてしまうリスクもあります。そして、アプリをダウンロードする際には利用規約(プライバシーポリシー)を読んでいますか？ アプリの中には、インストールすると、スマホに入っている個人情報(アドレス帳、写真のデータなど)が第三者に提供されると記載されているも

のこともあります。ダウンロードして使い始めたら、個人情報<sup>ろうえい</sup>が漏洩してしまった！ となっても後悔先に立たずです。

アプリだけではありません。多くの人がアクセスするサイトのYouTubeですが、子どもたちが利用する際に制限をかけることができるのをご存じでしょうか？ 子どもたちに不適切な動画や問題のある広告を見せないように設定を変更しておく必要があります。また、こうしたサイトやアプリだけではなく子どもたちが使う端末自体でも設定できるようになっています。保護者が子どものネット利用環境を整えると同時に、成人に向かって自立した利用ができるようにするための措置を「ペアレンタルコントロール」といいますが、その際に利用するものの代表が「フィルタリング」です。

## フィルタリングとは

フィルタリングは、保護者の目の届かないところで子どもがネットを利用する際に、出会い系サイトやアダルトサイトなど、子どもに不適切な情報の閲覧や利用を保護者が制限することができるツールです。近年、さまざまなサイトやアプリに表示される不適切な広告を介して、子どもたちが消費者トラブルに巻き込まれる事例が報告されていますが、こうした広告をきっかけとして子どもが有害なサイトへアクセスするリスクを大幅に下げることができます。利用している回線の事業者に申し込んだり、端末購入時に店頭で設定してもらったり、自身でフィルタリングアプリをインストールして設定した

☒ **フィルタリングなどを上手に使いこなそう**

**有害なサイト等へのアクセスやアプリの利用を制限したい**

**簡単に設定したい**

**モード設定を活用しましょう。**(以下のカテゴリ名は一例です)

フィルタリングサービスやアプリには、「小学生モード」「中学生モード」などの年齢等によるわかりやすい推奨モードが設けられています。設定はそれらを選択するだけ。年齢に沿ったある程度のインターネット安全利用環境が整います。

| 小学生      | 中学生      | 高校生      | 高校生+     |
|----------|----------|----------|----------|
| ファミリーゲーム | ファミリーゲーム | ファミリーゲーム | ファミリーゲーム |
| 一般ゲームなど  | 一般ゲームなど  | 一般ゲームなど  | 一般ゲームなど  |
| 懸賞など     | 懸賞など     | 懸賞など     | 懸賞など     |
| SNSなど    | SNSなど    | SNSなど    | SNSなど    |
| 出会いなど    | 出会いなど    | 出会いなど    | 出会いなど    |

**キメ細かく設定したい**

**カスタマイズ機能を活用しましょう。**

アプリ(またはカテゴリ)の単位で閲覧や使用の可否を個別に設定することができます。

サービスA    
 サービスB

iOSのアプリ制限等では、年齢ではなく年齢区分(4+,9+等)で設定する場合があります。

↑年齢区分の「数字+」は「〇歳以上」を表しています。

うちの子は小4だから9+ネ!

中学生は12+か!

**「長時間利用」を防ぎたい**

**利用時間設定**で、スマホやアプリ等が利用できる時間(長さ)や時間帯を設定することができます。

**課金や位置情報ほか**

サービスやアプリによって様々な設定があります。目的に合わせて活用しましょう。

出典：総務省「インターネットトラブル事例集(2021年版)」

りすることで、利用できます。端末やOS(オペレーティングシステム、多くの場合、iOSもしくはAndroid)によっては、本体に組み込まれていて、その機能を利用した設定も可能な場合があります。

● **フィルタリングの認知度**

とはいえ、どのように設定したらよいのでしょうか。内閣府の「令和2年度 青少年のインターネット利用環境実態調査報告書」(以下、調査報告書)\*によると、10~17歳の青少年の保護者のうち、フィルタリングを「知っていた」が62.3%、「なんとなく知っていた」が33.4%でした。合わせると「知っていた」は95.7%となりますが、その半面「フィルタリングの設定やカスタマイズが、難しいと感じる」保護者が2割程度いる実態がみえてきます。

得意不得意があるかもしれませんが、先に書いたようなスマホの設定そのものすら変更したことがない人だと、フィルタリングの設定方法を難しいと感じる可能性があることは否めません。

ネットにつながる端末は、多種多様化してお

り、パソコン、スマホ、タブレット、ゲーム機、音楽プレイヤーと増え続け、設定方法もそれぞれです。まずは自分の使っている端末、子どもに使わせている端末が何かを知ることからスタートしましょう。例えばスマホならば、iPhoneなのかAndroidなのかによってもフィルタリングの設定方法は異なります。さらに、携帯電話事業者によって、また、格安スマホなのかによってもフィルタリングの設定方法が異なります。一概に「これです。これだけ設定すれば大丈夫です」と言えないところが、保護者が難しく感じる理由だと推測されます。

そこで、まずは有害なサイト等へのアクセスやアプリの利用を制限する際に知っておくと役立つ事項を説明します。

● **簡単に設定したいとき**

フィルタリングサービスやアプリには、よく、年齢等による推奨モードが設けられています。個々の詳細設定もできますが、どこまで設定してよいのか分からない保護者に適しています。

☒にあるように小学生なら「ファミリーゲーム」

\* <https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/r02/net-jittai/pdf-index.html>

のみ使えるよう設定できます。なお、iOSで設定できるアプリ制限では、学齢ではなく年齢で設定するものもあり、よく「数字+」と表されます。この「+」は「以上」と理解してください。例えば小学校4年生の場合、9歳もしくは誕生日を迎えていれば10歳となりますので、「9+」と設定すれば、9歳以上の設定になります。

### ● 使用する端末に合ったフィルタリングの選択・設定を

スマホやタブレットのOS、契約する携帯電話事業者等によって、利用可能なフィルタリングサービスやアプリが異なるため、表を参考にしながら子どもが使うスマホやタブレットに合うフィルタリングを行いましょう。(フィルタリングの申し込み、利用方法は購入店舗や携帯電話事業者にお問い合わせください)

また、端末では学齢等を基準にした制限だけでなく、アプリごとで閲覧や使用の可否を個別に設定することができ、例えば保護者が使用を許可した特定のSNSのみ使えるようにすることもできます。

そのほか、コロナ禍で子どもたちの長時間のネット利用が気になる人も多いと思いますが、利用時間設定をすれば、スマホやアプリ等が利用可能な時間(長さ)や時間帯を設定することもできます。また、課金できないようにしたり、

位置情報の提供についても管理できることもあります。

## 受け身ではなく 自ら調べる努力を

前述の調査報告書で、「<sup>子ども</sup>子供がいずれかの機器でインターネットを利用しており、かつ、フィルタリングを利用している」と回答した10～17歳の青少年の保護者に「フィルタリングを使うに至ったきっかけ」を聞いた結果、最も多かったのは「販売店での説明を受けて」で47.6%、次いで「学校や保育園・幼稚園等での説明を受けて」が25.8%でした(複数回答)。

日々変化するネットの世界。そして、それに合わせて安全性や利便性を高めるために日々進化する機器。進化に合わせて使い勝手も変わるため、対応が難しいと感じることもあるでしょう。その使い方も使う年代層もさまざまになり、利用者(大人も子ども)に合わせて各自が設定するのが当たり前の時代になっています。コロナの感染予防対策をネットで調べるのと同じように、保護者が自ら「どうすれば設定できるのか」を調べましょう。子どもたちを有害な情報・広告から守るためには、「受け身で待っている」のではなく、「自ら調べる努力」が必要です。

表 OSおよび携帯電話事業者別フィルタリングサービス一覧

| 携帯電話事業者                                      | スマホのOS<br>対象 | Android                                      |     | iOS       |            |
|--|--------------|--|-----|-----------|------------|
|  |              | Web  | アプリ | Web       | アプリ        |
| ドコモ、KDDI (au)、ソフトバンク・ワイモバイル                  |              | あんしんフィルター※1                                  |     | あんしんフィルター | スクリーンタイム※2 |
| その他の携帯電話事業者<br>〔いわゆる“格安スマホ”<br>“格安SIM”の事業者等〕 |              | 各事業者が提供するフィルタリングサービス<br>もしくは、各種フィルタリングアプリ等※3 |     |           |            |

※1 Android端末の一部の機種では、あんしんフィルターではなく、OSの機能や他のアプリ(例: Googleが提供しているファミリーリンク)等を使用する必要があります。購入もしくは機種変更の際にご確認ください。

※2 iPhoneやiPadは、基本的にあんしんフィルター等のフィルタリングアプリで制御できるのはWeb接続のみとなります。アプリに関するコントロールについては、Appleが提供しているスクリーンタイム等を使用する必要があります。

※3 「iフィルター」等のフィルタリングアプリ、もしくはフィルタリング機能が備わっているセキュリティアプリが利用可能。なお、これらアプリは、あんしんフィルターが使えるスマホや契約の切れている古い機器等にも導入・活用できます。

出典: 総務省「インターネットトラブル事例集(2021年版)」